改訂：＊＊ 2013年11月15日（第9版）
改訂：＊ 2013年 3月19日（第8版）
認証番号 21400BZZ00368000

機械器具 ７８ 家庭用電気治療器
管理医療機器 家庭用電位治療器 JMDNコード 70987000

エスカレスト ＥＲ－９

【禁忌・禁止】
1)本機は家庭用電位治療器である。他の目的には使用しないこと。
2)次の人は絶対に使用しないこと。
①ペースメーカ等、体内植込み形医用電子機器を使用している人
②心電計、人工呼吸器等、医用電子機器を装着している人
③人工関節や人工臓器等、体内に金属を埋め込んでいる人
④その他、医師に不適当とみなされた人
⑤心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人＊
3)次の人は、医師と相談のうえ、使用すること。
脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど、急性（とう（疼）痛性）疾患の人、悪性しゅよう(腫瘍)のある人、体温38℃以上(有熱期)の人、血圧異常の人、妊娠または妊娠している可能性のある人又は出産直後の人、新生児、乳幼児、または意思表示のできない人、糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人、温度感覚喪失が認められる人、化膿性疾患のある人、皮膚疾患のある人、疾患などで体力が低下している人、出血要素の高い人、安静を必要とする人＊

【形状・構造及び原理等】
1)機器構成 （※op：オプション設定）
本体、リモコン、検電管、アースコード、
オットマン(※op)、オットマンL(※op)

※op

2)電気的定格
AC100V 50/60Hz 60W
本品は、EMC規格JIS T0601-1-2：2002に適合している。
3)寸法及び質量

本体	幅745(745)×奥行960(1100)×高さ925(800)［mm］
オットマン	幅480×奥行430×高さ400［mm］
オットマンL	幅480×奥行430×高さ230［mm］
	（）内はリクライニング時の寸法とする。
本体	40kg
オットマン	6kg
オットマンL	6kg

4)ブロック図

AC100V 50/60Hz
電源部
高電圧部
制御部（タイマ部）
高電位電極
操作部、表示部
リモコン
本体パネル
保温部、リズム部
面電極
ペン電極
対電極

5)作動・動作原理
本機は、高電圧部に給電することにより、高電位を発生させ、発生させた高電位を高電位電極に供給することで高電位電極上に座る人を電位治療するものである。

【使用目的・効能又は効果】
頭痛、肩こり、不眠症、及び慢性便秘の緩解。
一般家庭で使用する。

【品目仕様等】

直流式・交流式の別	交流式
最大出力電位	14000Vp以下(9000Vrms以下)
治療タイマ	設定時間 1分～1時間00分
	精度 設定時間の±5%
出力設定及び出力表示	4段階設定の4段階表示
	高 約13000Vp、中 約11000Vp
	低 約 9000Vp、弱 約 7000Vp
保温部最高設定温度	40±15℃
リズム部最大振動加速度	9.8m/s2以下

【操作方法又は使用方法等】
1)設置場所について
○環境条件(周囲温度10～40℃,相対湿度30～75%,気圧700～1060hPa)を満たし、構造的にしっかりした場所に設置すること。
○本機は、壁や周囲の設置物より30cm以上（リクライニング時も考慮に入れてカーテンなどにも注意し十分余裕を取る）離すこと。また、温度の高くなる機器と並べて設置するときは、十分な距離を保つこと。

＜次のような場所は避けること＞
○浴室などの湿度の高い場所。水のかかりやすい場所。
○使用環境条件以外の場所。（使用環境条件：周囲温度10～40℃、相対湿度30～75%、気圧700～1060hPa）
○環境からの悪影響を受けるおそれのある場所。（風通しの悪い所、直射日光のあたる所、湿気やほこりの多い所、湯気や油煙が当たる所、スプレーや化学薬品などを使用する所、可燃性ガスの発生する所または溜まる所、塩分・イオウ分などを空気中に多く含む所）
○ストーブなどの熱器具のそば。
○傾斜、振動、衝撃など不安定な場所。特に運搬時は衝撃に注意すること。
2)電源設備について
○電源の電圧、周波数、消費電力に注意し、定格電圧、定格周波数以外の電源では使用しないこと。（定格電圧AC100V、定格周波数50/60Hz、定格消費電力60W）
○電源プラグは、必ず使用条件の定格値を満たすコンセントにしっかりと奥まで差し込み接続すること。また、本機は接地することで電撃に対する安全性が確保されるので、必ず付属のアースコードにより正しく接地して使用すること。
○タコ足配線はしないこと。
○濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。
○電源プラグは、定期的にプラグの刃などのほこりを取ったり、差し込み具合を確認すること。差し込みがゆるい、プラグが傷んでいる場合は、必ずお買い求めの販売店へ電源コードの修理を依頼すること。電源コードの修理が完了するまでは絶対に機器を作動させないこと。
3)装置の操作方法
操作方法の詳細については取扱説明書の使用方法の欄を参照すること。
取扱説明書に記載された内容以外の使用や操作は絶対にしないこと。

準備
1)電源コードの本体接続側を電源インレットに、電源プラグを室内コンセント(AC100V、50/60Hz)に接続し、アースコードの本体接続側(つめ端子)を保護接地端子に、反対側を室内アースに接続する。
2)使用するクッション類、リモコン、電極を次に指定する端子に接続する。
○高電位電極は、高電圧コネクタに接続する。
○背クッション、オットマン(又はオットマンL)は、背クッション端子、オットマン端子に接続する。
○リモコンは、リモコン端子に接続する。
3)電源スイッチを「入：|」にする。

設定手順
4)出力電位設定スイッチで出力電位を設定する。治療の目安として最初は弱に設定し、体の慣れとともに徐々に高い出力電位に設定する。
5)出力電位表示器に設定した出力電位が点灯する。
6)タイマ表示器に点灯する治療時間を確認しながら、タイマ設定スイッチで治療時間を設定する。治療の目安は、1日1回20分である。体調などに応じて治療時間を設定すること。
7)椅子に座り、リモコンを持ち、リクライニングレバーで座椅子を好みの角度に設定する。

開始
8)治療開始・停止スイッチを押す。
9)治療開始・停止表示器が点灯し、出力電位が発生する。

終了
10)治療時間が終了すると、出力電位が停止し、終了音が鳴る。タイマは停止し治療開始前に設定した時間にもどる。
11)治療途中に停止させる場合は、リモコン開始・停止スイッチ又は治療開始・停止スイッチを押す。

取扱説明書を必ずご参照ください

12）治療停止した場合は、出力電位が停止し、終了音が鳴り、タイマは停止し治療開始前に設定した時間にもどる。
13）引き続き治療を行う場合は、上記4）から始める。
14）長時間使用しない場合は、電源スイッチを「切（○）」にする。

保温、リズムの使用方法

保温：保温設定スイッチによって背クッション、オットマン（又はオットマンL）の表面温度を調整する。

リズム：リズム設定スイッチによって背クッション、オットマン（又はオットマンL）に対して加振する。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意事項＞

使用前

1）治療前に金属類、機器類は外すこと。
2）本体内部に液体をこぼしたり、燃えやすい物や金属類を落さないこと。
3）治療用椅子のクッション類を破損（鋭利な刃物、鉛筆、安全ピン等）、焼け焦げ（煙草等）、水こぼし（飲料水等）などさせる恐れのある物品を治療用椅子の上に置いたり、身につけたまま治療用椅子に座らないこと。
4）すべてのコードにおいて、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたりしないこと。特にコードが椅子やオットマンなどによって踏まれていたり、リクライニング機構部に挟まっていたりしないこと。
5）高電圧ケーブルは、特に無理に力をかけないよう取り扱いに注意し、常に正常であるか確認すること。
6）治療用椅子のクッション類や付属品などを無理に折り曲げたり、湯水などにつけたりしないこと。
7）治療用椅子のクッション類や付属品などが濡れたりした場合、乾いた布でよく拭き取り十分乾燥するまで使用しないこと。重度に濡れた場合（失禁などの場合）は、必ずお買い求めの販売店に一度点検調整させた後に使用すること。
8）各端子口には所定のコード以外のものを絶対に差し込まないこと。
9）初めての治療では、出力電位を低くし治療時間を短めに設定すること。
10）本機を使用するときは、以下の事項に注意すること。
○取扱説明書の点検事項を参照して点検を行い、機器が正常に作動することを確認すること。
○すべてのコードが正しく、かつ完全に接続されていることを確認すること。
○この機器で使用する付属品は、必ず取扱説明書で指定しているものを使用すること。
11）すべてのコードを取り扱う場合、必ずプラグの部分を持って取り扱うこと。
12）電極は正しく装着すること。
13）電極がぬれている場合には、使用しないこと。
14）特に、導電性繊維を使った衣類などを身に付けている人や、治療用椅子に敷いている場合は、治療中にヤケドをする恐れがある。このため、そのような導電物らしきものを身に付けている人や、治療用椅子に敷いている場合は、使用前に外すこと。
15）一人用家庭用電位治療器であり、複数の人が同時に使用しないこと。＊
16）この機器の作動状態で電源プラグ及び電源コードが手で触れないほど熱くなっている場合は、電源プラグを抜いて使用をやめること。＊＊
17）電源コードは束ねたり極端に曲げたりしないこと。＊＊
18）電源プラグを長期間コンセントに差し込んだままにしておくと、プラグとコンセントの隙間にほこりがたまり、そのほこりが湿気を帯びて発火するおそれがある（トラッキング現象）ため、プラグを時々抜いて、乾いた布でほこりや湿気を拭き取るなどの適切な処置を行うこと。＊＊

使用中

19）治療中は機器の全般、異常のないことを絶えず注意すること。異常な状態が発生したときは、直ちに電源を切り、機器に適切な表示をし、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店へ異常の状態を連絡し、修理を依頼すること。
20）治療中は必ず停止スイッチを押せるようにすること。
21）本機の作動中に、リモコン、背クッション、オットマンなどのコネクタを着脱しないこと。必ず本体の電源スイッチを切ってから着脱すること。
22）治療に必要な時間、電圧をこえないこと。
23）雷が鳴りだしたら、治療を停止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと。
24）特に導電繊維を使った衣類などを身に付けている方や、治療用椅子に導電性繊維を敷いている場合は、治療中にヤケドをする恐れがある。治療中に異常な感覚がした場合は、導電物であるなしに関わらず、一旦治療を中止し、異常感覚の原因と予想される物体を外した後、治療を再開すること。
25）治療中に治療用椅子に座ったまま、周りの人や物に触れたり、物の受け渡しはしないこと。ビリッと感じる場合がある。また、周囲に置かれた電気機器に触れると故障を起こす原因になる場合がある。物の受け渡しなどの必要があるときは、治療を停止し、治療用椅子から離れ、必ず電源スイッチを切ること。
26）治療中に不快感や、痛い、熱いなど身体に異常を感じた場合は、我慢せず直ぐに治療を停止し、お買い求めの販売店へ連絡すること。
27）子供、高齢者、病気の人などが使用する場合は、周囲の人が異常ないよう十分注意すること。
28）電極に金属を接触させないこと。
29）停電のときは、直ちに電源を切ること。
30）周囲の人は治療中に人に触れてはいけない。＊
31）絶縁形の導子によって1000Vを超える電位治療中は通電形の導子を併用してはならないこと。＊
32）通電形導子は、必ず治療を行なっている使用者自身で使用し、他のものがこれを保持してはならない。＊
33）導子は、頭部又は皮膚疾患部には接触させないこと。＊

使用後

34）使用後は電源スイッチを必ず「切（○）」にすること。切り忘れが事故や故障の原因となる場合がある。
35）長期間使用しないとき、またお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いておくこと。

その他

36）本機の改造は、絶対にしないこと。弊社の係員以外が本機を修理または調整して発生した事故及び故障に関しては、無断で修理した人の責任となる。
37）他社製品のコードや部品などを使用しないこと。
38）本機を踏み台等に使用しないこと。
39）治療用椅子のクッション類、コード類、電極類、パネルケース類の損傷が発見されたとき、またその他の故障をしたときは、勝手にいじらず、直ちに電源スイッチを切り、機器に適切な表現をし、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店へ修理を依頼すること。
40）しばらく使用しても、効果が現れない場合、医師又は専門家に相談すること。
41）絶縁方法に注意を要する場合もあるので、取扱説明書で指示している方法で使用すること。＊

＜相互作用＞

1）他の治療機器や他の電気製品との併用はしないこと。
2）電子レンジなどノイズを発生する機器のそばで使用しないこと。また、付近での携帯電話の使用は避けること。
3）治療中に治療用椅子にテレビやラジオなどを近づけないこと。雑音が入ったり、故障の原因になる場合がある。

＜その他の注意＞

本装置を廃棄する場合は、産業廃棄物となる。必ず地方自治体の条例・規則に従い、許可を得た産業廃棄物処理業者に廃棄を依頼すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

＜貯蔵・保管方法・輸送＞

1）周囲温度-10～60℃,相対湿度10～95%,気圧700～1060hPaを満たし、構造的にしっかりした状態で保管、輸送すること。
2）浴室など湿度の高いところ、水のかかりやすいところでは保管しないこと。
3）傾斜や振動のある不安定な場所や衝撃（運搬時も含む）のかかる場所に保管をしないこと。
4）化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
5）環境からの悪影響を受けるおそれのあるところでは保管しないこと。（風通しの悪い所、直射日光のあたる所、湿気やほこりの多い所、湯気や油煙が当たる所、スプレーや化学薬品などを使用する所、可燃性ガスの発生する所または溜まる所、塩分・イオウ分などを空気中に多く含む所）
6）ストーブなどの熱器具を使用する可能性のあるそばでは保管しないこと。
7）本体、付属品などは、次回の使用に支障のないように清浄にし、使用環境条件を満たすところに整理、保管すること。
8）長期保管後（1年以上）の使用前には、お買い求めの販売店で点検を受けてから使用すること。

＜耐用期間(自主基準)＞

8年

注）耐用期間は、定期的な保守点検、および必要に応じた修理を行うことによって、性能が維持できる期間を意味する。

取扱説明書を必ずご参照ください

【保守・点検に係る事項】

＜使用者による保守点検事項＞

1)日常点検（使用前・使用後点検）

以下の項目を使用前に点検すること。

設置状況の確認	取扱説明書記載の「設置について」を参照し、設置状況を確認すること。
コード類の確認	取扱説明書記載の「コードの接続について」を参照し、コード類の接続を確認すること。
パネルの作動確認	タイマの設定が変更できるか、電位の設定が変更できるか、治療開始・停止ができるか確認すること。
リモコンの作動確認	保温温度の設定、リズムの入切、治療開始・停止が操作できるか確認すること。
電源プラグと電源コンセントの接続部の確認＊＊	ほこりが溜まっていないことを確認すること。＊＊

以下の項目を使用後に点検すること。

電源スイッチ「切：○」の確認	使用後に電源スイッチが「切：○」になっていることを確認すること。
保管場所の確認	保管に適した場所に保管されていることを確認すること。

2)定期点検（1ヶ月毎点検）

以下の項目を定期的に（月に1回程度）点検すること。

電源コードの被覆異常の確認	電源コードの表面上に著しい変質や変形がないことを確認すること。
電源プラグと電源コードの断線の有無	電源スイッチを「入：｜」にした状態で、電源コードを動かして電源がONOFFしないことを確認すること。
電源プラグと電源コンセントの接続部異常の有無	しっかりと接続されていることを確認すること。
電源プラグと電源コードの異常過熱の有無	触れられないほど過熱していないことを確認すること。
各コードの被覆異常の有無	各コードの表面上に著しい変質や変形がないことを確認すること。
各コードの接続部異常の有無	しっかりと接続されていることを確認すること。
座クッション、背クッション、オットマンの異常の有無	座クッション、背クッション、オットマンの表面に破れ、焦げ等異常がないことを確認すること。

＜業者による保守点検事項＞

3)定期保守点検（1年毎点検）

・安全性を維持するために1年に1回は定期保守点検を受けること。

・長期保管後の使用前には定期保守点検を受けること。

・定期保守点検を受ける場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。

以上の保守・点検の依頼、または異常を発見したときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

【包装】

1台（又は1セット）単位

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

氏名又は名称：製造販売業者　ミナト医科学株式会社

製造業者　ミナト医科学株式会社

住所等：〒532-0025大阪府大阪市淀川区新北野3丁目13番11号

電話番号：06(6303)7161　FAX番号：06(6303)9765

取扱説明書を必ずご参照ください